



# 琉球玩具 通信



No. 6

2026.04.25.

## 琉球玩具に関する情報交換と記録の広場

### 目次

草玩具を作り、動かして遊ぶー②..... 與儀 誠一..... 1  
リーフクラフトを八重山の新しい文化に！ー⑥  
カエルの編み方..... 谷崎 樹生..... 3

身近な植物で草玩具を作ろうー⑤..... 西平 守孝..... 5

### 草玩具を作り、動かして遊ぶー②

與儀 誠一

身近にある植物の形や色を利用して玩具を作り、パソコンで動かして遊んでみよう。玩具は手に持って遊ぶのに意味がありますが、パソコン上で動かして遊ぶのも一計です。作って遊んでみましょう。

#### 1) 木の葉や花弁のチョウ

前のページで使った植物に限らず、他のさまざまな木の葉や草花の自然の色と形を利用して、蝶の草玩具も作ってみました。普通の玩具は、手に持って長い時間をかけて遊ぶことができ、またそのことにこそ意味もありますが、葉や花びらなどで作ったものはすぐにしおれて壊れてしまいます。そのため、このままでは楽しめる時間が短いですから、別の遊び方の一つとしてパワーポイントを使って動画にして動かしてみることにしました。ここでは、そのことをご紹介しますと思います。皆さんも試しにやってみてください。



サンタンカ(左)とギンネムの小葉で作った蝶(右)



葉や花びらの一部で作った蝶

チョウチョは当然翅は左右対称ですが、ここでは左右の翅の形に多少の差異があっても、あまり気にせず作ってみましょう。主眼をむしろ動かして遊ぶことに置く方が、よいかも知れません。

#### 1) パワーポイントで動画を作る

作った玩具の写真をとり、パワーポイントの上で動かしてみましょう。動画は、まず ① 作った蝶の写真を撮り、② この画像をパソコンに取り込み、ペイントソフトなどで画像の背景が透明になるようにしておきます。③ 次にこの画像をパワーポイントの画面にコピーします。④ そしてパワーポイントにあるアニメーションの追加を押し、★印のその他にある開始効果(M)をクリックし、その中にあるベシクターンで蝶の画像を動かします。すると蝶が羽ばたくように見えます。この時、蝶が羽ばたく適当な時間を設定して置くことがよいでしょう。また、蝶の位置を移動させるためにアニメーションの起動効果の追加を使用します。④ ここで必要であれば適当な背景を最背面に設定しておきます。⑤ このようにして作ったパワーポイントの動画をエクスポートして動画で保存します。保存する方法は、パワーポイントの使用説明にありますので参考にしてください。



左右ともパソコンで動かすパワーポイントの例

このような草玩具は絵具や動かす装置も必要ないのでいろいろな遊びができます。紙面では蝶の動きを2つの画像(図3, 4)で表現しておきます。花びらや葉などを利用して鱗粉にした蝶を作れば画像の種類も広がります。

## 1) ウッチリクブサー

右の写真はマンゴウとスイカの画像を切り貼りして作ったウッチリクブサーで、顔はPCで作ってあります。背景をいろいろ変えて動かすこともできます(中央)。



ウッチリクブサー (左:材料, 中央:組み合わせて顔描き, 右:完成)

## 2) トラ

右下の写真はトラで、トラノオ(体と尾)・マンゴウ(口)・ゼンマイ(鼻と髭)・米粒(歯)などの写真画像を切り貼りして作ってみました。トラが座って空に向かって吠えている像です。



トラノオなどで作ったトラ

## 3) トンボ

左の写真はキュウリとクロトンなどの画像を利用して作った、おなじみのトンボです。他にギンネムの葉・蕾・古い英を使ったトンボもできるでしょう。チャレンジしてみましょう。



ゴーヤーとクロトンのトンボ

ギンネムのトンボ

## 4) トカゲ

四角豆とゴーヤーの画像を切り貼りして、変なトカゲを作ることができます。長い尾を取り付けば更にそれらしくなることでしょう。



四角豆とゴーヤーのトカゲ

## 5) まだら模様のヤモリ

ゴーヤー(前後の脚と頭)とトラノオ(胴と尾)を使ってヤモリを作り、赤い実で目を付けてみました。尾は一度切れたものが再生したようにみえます。



ゴーヤーとトラノオのヤモリ

●これらの画像をパワーポイントなどのソフトで動かして遊んでみましょう。下の連続写真は、3のトンボの画像に背景をつけて、パワーポイントのアニメーションで動画にしたものです。遊びながら作って、楽しく遊びましょう。



ギンネムのトンボの動画



ゴーヤーとトラノオのトンボの動画

よぎ せいいち  
那覇市首里崎山町在住



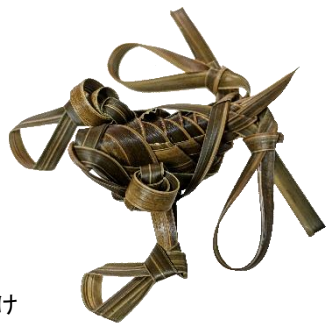
## リーフクラフトを八重山の新しい文化に！⑥ カエルの編み方

谷崎 樹生

ヤエヤマヤシの1枚の小葉を編んで作る伝統的なバツタの編み方を改良して、いろいろな動物を表現しています。今回は、カエルの編み方を紹介したいと思います。皆さんも身近で手に入るヤシ類の小葉を使って、編んでみてください。

前回紹介したイノシシの編み方は、完成させるまで数日かかりましたが、今回紹介するカエルは一夜にして完成しました。自然な流れに導かれるように編み進めていったら、カエルが誕生した訳です。

そんなことがたまにあるのもリーフクラフトの面白いところです。カエルは腹側にバネが付いていますから、短い尻尾をつまんで鼻先をやや上向きに持ち、テーブルの上に投げ落とすとピョコンと三点倒立します。

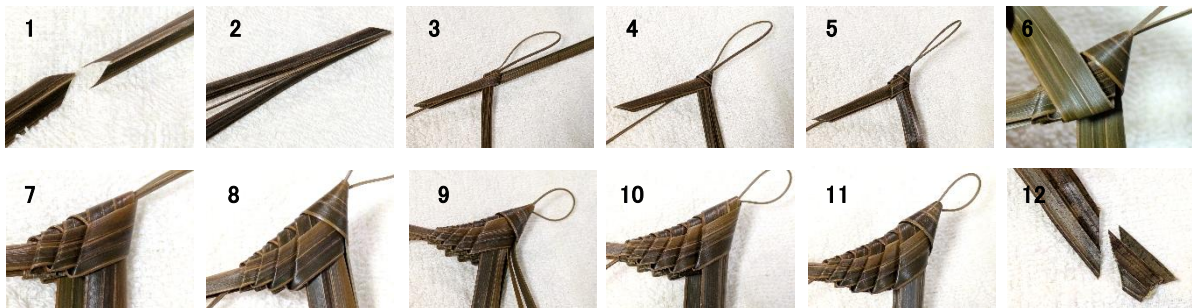


バネの強さや投げ落とす角度や強さ等、いろんな要素が程よく組み合わさった時だけ三点倒立します。出来るまでやれば出来ますから、練習してみてください。

### 【カエルの編み方】

#### (1) 胴体を編む

- 1 カエルは胴体が太く頭も大きいので幅広の葉を選びましょう。
- 2 尻尾は太短くていいので葉先は大胆に切り落とします(写真1)。
- 3 短い尻尾だけを残して三枚に下ろし尻尾の方から編み始めます(写真2~5)。
- 4 斜め後ろに折り上げる折り目を少しずつ下に下げるようにしますと、胴体が太くなっていきます(写真6~8)。
- 5 葉の長さにゆとりがあれば5段ほど編んだところで帯の後縁を揃えて前縁を1/4ほど切除します(写真9)。
- 6 もう一段編めば胴体の完成です(写真10~11)。
- 7 ここで帯の端を後縁を尖らせるように斜めに切ります(写真12)。



#### (2) 目玉・前足・後足を編む準備

- 8 帯を三等分します(写真13~14)。
- 三等分した帯を前から1番~4番と呼ぶことにしましょう。



#### (3) 目玉の編み方

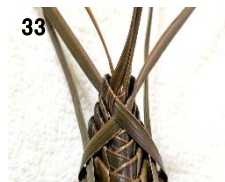
- 9 右の1番を上に戻し、肩口から下に通して付け根の後ろ側に出し引き締めます(写真15~16)。
- 10 その1番をさらに斜め上前方に曲げ1番をすくって鼻先の輪に通します(写真17~18)。
- 11 左の1番も同様に編み鼻先の輪の中で右1番と重ねます(写真19)。
- 12 尻尾の下を軸を引っ張って鼻先の輪を絞ります(写真20)。
- 13 左1番は右に、右1番は左に曲げてそれぞれ1番の輪を通して斜め下へ(写真21~22)。
- 14 左右の1番を1番の輪に二回通し絞ります(写真23~26)。
- 15 右の2番を1番の上側の輪に通し、肩口から下に通して付け根の後ろに出し、引き締めます(写真27)。
- ここで2番は3番の外側に重なるようになります(写真28)。
- 16 1番をさらに二回回せば、目玉ができます(写真29~30)。





#### (4) 後足の編み方

- 17 3番を背側から反対側に回し、一番後ろのポケットに通して後方斜め下に引き締めます(写真 31~33)。



#### (5) 前足の編み方

- 18 右の2番を上から前に回して一度結びます(写真 34~35)。  
19 右の2番を18で作った結び目に通し手のひらを作ります(写真 36)。  
20 左の2番も同様に編みます(写真 37)。  
21 裏返して2番をもう一度結び目に通して引き締めます(写真 38~41)。  
22 2番を腹側から反対側の一番前のポケットに通して背中側に引き上げます(写真 42~45)。  
これで前足ができました。



#### (6) 後足の編み方の続き

- 23 一番後ろのポケットに通してあった3番を一度結びます(写真 46~47)。  
この結び目には四回帯を通すことになりますから、少し緩めに結んでおきます。  
24 裏返して目玉を編んだ続きの1番を3番の結び目に通します(写真 48~51)。  
25 ここで尻尾の下のを軸を程よい長さに切り前から二段目に差し込み木工用ボンドで固定してバネを作ります(写真 52)。  
26 3番を再度結び目に通します(写真 53)。  
27 裏返して3番をまた結び目に通します(写真 54~55)。  
28 3番を上側に折り返しまた結び目に通します(写真 56~58)。  
29 余分な帯を切除すればカエルの完成です。手のひらは三角に折れば「みずかき」らしく見えるでしょう(写真 59~60)。  
尻尾は摘まめる程度に短く切ります。  
30 腹側のバネは、尻尾を摘まんでテーブルに投げ落としたとき、ピョコン跳ねて三転倒立させるためのバネです(写真 61)。



たにざきしげお  
石垣市新川在住



沖縄にはやんばるの森や西表島、石垣島の森林などに、さまざまなシイやカシの仲間が生えています。それらの木にはどんぐりと総称される実がなり、リュウキュウイノシシをはじめとして、さまざまな動物たちの餌として有用な資源になっています。玩具作りの材料としても、どんぐりはどこでも好んで使われていますし、童謡にもうたわれて親しまれている馴染み深いものです。沖縄のどんぐりを使って玩具を作ってみましょう。

## 1) ドングリの仲間たち

沖縄にはさまざまな種の椎の木の間が生えています。それらには大小さまざまな大きさのどんぐりがなりますが、オキナワウラジロガシは日本で最大のどんぐりであるといわれています。

どんぐりを使って作った玩具の中には、お馴染みのものいくつか思い当たると思いますが、それらに限らず他にも思いつくものも作ってみましょう。

### ① 4本足の動物たち

どんぐりや竹串だけで作ることできます。まずは4本足の動物を作ってみましょう。どんぐりによっては、彩色して感じを出すのもよいでしょう



どんぐりの組み合わせ



ヒト



エナメルで彩色



カメ



サキシマスオウノキ  
+ アマミアラカシ



キリン



1: アマミアラカシ  
2: オキナワウラジロガシ  
3: オキナワキョウチクトウ



① (与那原正勝)



② (与那原正勝)



③ (与那原正勝)



④ (与那原正勝)

①: オキナワウラジロガシ;  
②: イタジイ; ③: アマミアラ  
カシ; ④: マテバシイ

### ② 2本足の動物たち

2本足の動物といえば、すぐに鳥が頭に浮かぶでしょう。さまざまな鳥がいますので、中でもこれが好きという鳥がおれば、作ってみましょう



どんぐり2種



フラミンゴ  
サキシマスオウノキ+  
アマミアラカシ+  
アルミのはりがね

### ③ ドングリのペンダント

安全ピンにステンレスの針金を取り付け、それにどんぐりをさしてぶら下げ、ブローチにしてみましょう



### ④ 他の実と組み合わせる

どんぐりを他の果実や種子と組み合わせても、さまざまなものを作ることができるでしょう。のびのびとした気持ちで、思いついたものを作ってみましょう



タイワンフウ+どんぐり(頭)

### ⑤ ドングリのコマ

どんぐりの果実に爪楊枝か竹串を挿し込むだけで、コマをつくるができます。形が整っていますので、とてもよく回ります



どんぐりのコマ

\*ここで示した自然状態のシイ類は全て与那原正勝さんが撮影したものです。

## 2) モクマオウ

モクマオウの実は、短い果柄に表面がギザギザしたものです。一つのとんがりの中に種子が入っています。種子が飛び出した後はギザギザが開いた状態になります。開いたところに爪楊枝か竹串の尖ったところを差し込んで脚を作り、さまざまな四脚の動物を作ってみましょう。大きな実に小さな実を繋いで、頭にすることもできるでしょう。

また、緑色の茎を途中で折って元のように継ぎ足し、どこで折れているかを言い当てる遊びもあります。茎の周りに輪生している微小な鱗片葉をよく観察して、言い当ててみましょう。



腹側から見たところ  
4本の脚を穴に差し込む



モクマオウの植栽と落下果実



モクマオウの果実



長脚

短脚

## 3) タイワンフウ

タイワンフウの実は、とても長い果柄にギザギザした表面から長い毛が生えたような感じです。果実は果柄を付けたまま落ちますので、それも活かして玩具を作ることができるでしょう。はじけて種子が飛び出した後の空いた穴に、爪楊枝などを差し込んで立たせることができますので、いろいろ作ってみましょう。他の植物の果実を取り付けることも可能です。果柄は尾として活かすことができます。



タイワンフウ  
+モクマオウ



タイワンフウ  
+ドングリ



タイワンフウ

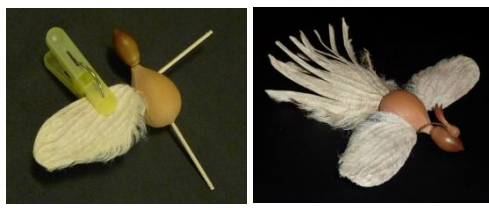


## 4) マンゴウ

マンゴウの種子は比較的大きく、漂白すれば白くなります。食べ終わった残りの種子を良く洗い、残った肉をこそぎ落とします。すっかり落とした後、ハイターをいれた水(10%)に1日程度漬けておき、取り出してよく水洗いして残りの果肉を除いて乾燥させれば、工作に適した白いマンゴウの種子ができます。

### ① 鳳凰 ①

2個のマンゴウの漂白した種子を切り開き、ソテツの種子やドングリなどつつなぎ、ツクバネの冠を取り付けて色を塗ると美しい鳳凰①に仕上げる事ができます。



マンゴウ+  
ソテツ+  
アマミアラカシ+  
ツクバネ

### ② 鳳凰 ②

同じようにして、マンゴウの種子だけで鳳凰②を作事もできます。この場合は、胴も尾も翅も冠もすべてマンゴウの種子でつくってみました。どのように作るかいくつかの写真を示しておきますので、想像して作り方を考えてみましょう。ここでは、種子を2個使っています



ジェツソを塗る  
(鳳凰②)



ハサミで切って  
尾を作る



2枚張り合わせ  
て胴を作る



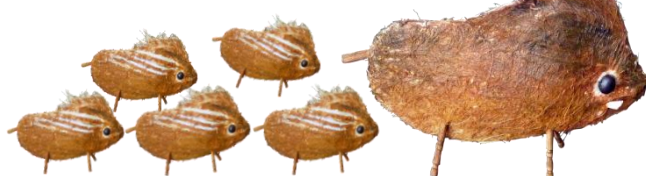
部品を組み合わせ  
ボンド付けして完成

### ③ イノシシとウリンボウ

マンゴウの漂白した種子に爪楊枝か竹串を挿してボンドで止め、牙や尾を挿してイノシシを作ります。小さな未熟のマンゴウの種子を使い、ウリンボウも作ることができます。それらしく色を差して完成です



未熟な種子を漂白して作る



ウリンボウ

イノシシ

### 猪の作り方



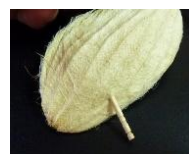
ダンドクの種子を  
ニッパーで2つに  
割って、目を作る



1) 前足の位置に千  
枚どうしなどで穴を  
開ける



3) 前後左右の足を  
付け、尾をつける



2) 短く斜めに切っ  
た爪楊枝の先にボ  
ンドをつけ、穴に差  
し込む。足の長さを  
調節する



4) 目と牙をつけて、  
うまく立つように4本  
の足を調節する

\*マンゴウにかぶれる人には不向きですので、触らないようにしましょう

#### ④ 大きなアブ

マンゴウの漂白した種子を切り開いて2枚の翅を作り、ソテツの種子にドングリの帽子を被せると、大きなアブに仕上げることができます。翅にそれらしく色を塗るなどして、よりそれらしいものに仕上げてみましょう。マンゴウの羽根以外は、オキナワウラジロガシの帽子とオキナワキョウチクトウの種子で胴を作ってもよいでしょう



##### 翅の大きなアブ

**材料:** ・マンゴウの種子(2分)(翅) ・オキナワキョウチクトウ(胴) ・ドングリの帽子(頭)

**作り方:** ・オキナワキョウチクトウにドングリの帽子を貼り付ける ・マンゴウの翅を貼り付ける ・これで姿は完成(色を刺す場合はアクリル絵具(ガッシュ)がよい)



##### 翅の大きなアブ

好みの色を付けて、自分の好きなアブに仕上げるできるので、チャレンジしてみよう

#### ⑤ いろいろなサカナ

マンゴウの小さな未熟の種子を漂白して尾を取り付ければ、小さな魚を作ることができます。未熟な種子は、細長いこともありますので、それらしい魚に見立てることもできるでしょう。好みの色を塗れば、さまざまな魚にすることができますので、チャレンジしてみましょう



色を塗る前のさまざまなサカナ



それぞれのサカナに好きな色を塗れば、自分の好きなサカナにすることができますので、せっかくですから最後まで仕上げてみましょう

#### ⑥ 葉で作る

マンゴウの葉は細長く、枝にたがい違いに付いています。その葉を用いて魚などの形にして玩具を作ってみましょう。アイディア次第で、面白いものを作ることができるでしょう。切り貼りすることが必要ですが、考え次第でさまざまなものを作ることができるでしょうから、いろいろ考えて作ってみましょう。アイディア勝負です



マンゴウの葉のチョウチョ・雁・マンタ

サカナ



マンゴウの花序と葉

にしひら もりたか  
那覇市首里石嶺町在住